(特非) エコ・モビリティ サッポロ

楽しく快適にSDGsコミュニティ創造事業

ひろげる助成

2年目

実 践

活動地域 北海道



SDGsコミュニティ創造には、地域住民の機運、合意 の醸成、共有、発信することが不可欠であるが、それ らを支援し持続性させるための事業主体が必要であ る。

目標

真駒内が国内外、地域のひと、自然、歴史、文化と出 会う結節点となり、未来を協働で創造していく仲間 たちのしなやかなコミュニティを創造する。

活動内容と成果

1年目に地域ステークホルダーとともに作成した「真 駒内版SDGslから、2年目は実現可能なゴールを抽 出し実践していく取組みを行った。特にシャッター 商店街となりつつある場所で閉店した店舗を活用し て、地域密着型の拠点創造へ向け取り組んだ。ワーク ショップ2回、マルシェ2回、フォーラム1回、事業構 想戦略会議を実施した。様々な人が行き来する商店 街での継続的な取組みは、今まで関わりのなかった 近隣高校との連携を生み、多様な世代から意見を聞 ける機会となり、受け入れる側の意識変化も生まれ つつある。



T060-0031 北海道札幌市中央区北1条東 7丁目10-58

雷話:080-4075-7806

E-mail: info@ecomobility-sapporo.ip HP: http://ecomobility-sapporo.jp

イベント参加者 アンケート調査数

106人

SDGs理解度增加率

300%

今年度計画の達成度

70%

日標達成度

50%

苦労した点と工夫した点

苦労した点

構想案が状況によって変化する中で コミュニティメンバーの賛同が得ら れない面もあり、対応に苦労した。

工夫した点

無理に理解を求めようとせず、情報 の共有や報告は定期的に行った。



今後の

「若い人材」が育ち新陳代謝が起こることが、持続性を担保し自立化する上で重要 と認識している。今年はSDGsに積極的な近隣高校生の参画がきっかけとなり教育 とまちづくりも新しい柱に育てることも検討している。